OSS Token Platform

Web3xOSS

支援トークンで構築する持続可能なOSS経済圏

投資ではなく、支援の証明

問題:OSSの資金不足

現状の課題

- **開発者の燃え尽き**: 無償労働による持続性の限界
- 資金調達の困難: 寄付やスポンサーシップの不安定性
- 支援の不可視化: 支援が適切に評価されない

結果

→ 優秀なOSSプロジェクトが継続困難に

解決策:支援証明トークンとは?

従来トークンの考え方

- × 消費型トークン: 使い切って終わり
 - × 投機的価値: 短期的な利益追求

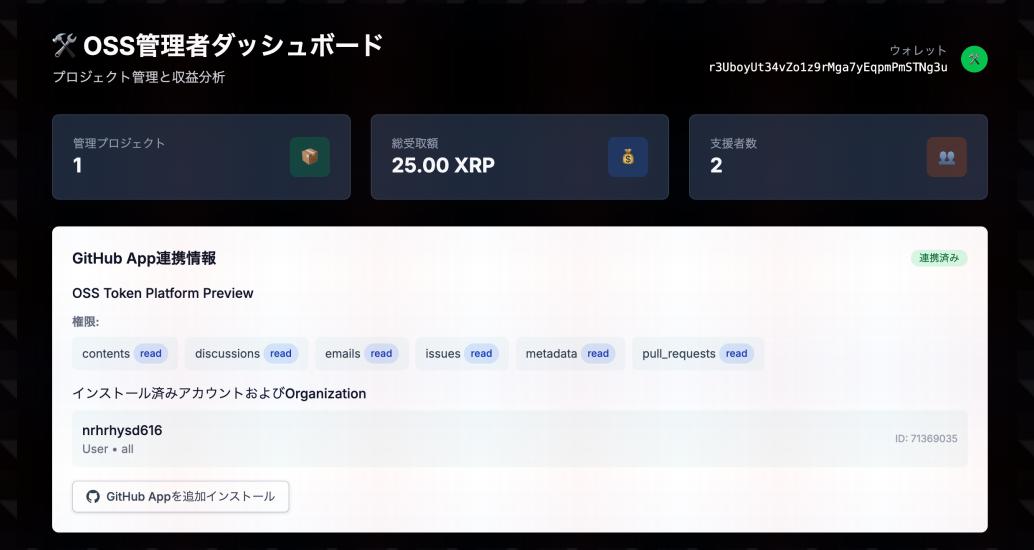
本プロダクトでは

- ✓ 保有型トークン: 持ち続けることに価値
- ▼ 支援証明: 「どれだけ支援したか」が一目で分かる
 - ▼ 長期関係: 持続的なコミュニティ形成

「投資ではなく、支援の証明」

寄付までのフロー

1. GitHub OAuth、GitHub Appでメンテナー登録



2. メンテナーがプロジェクト登録・公開

く プロジェクト一覧に戻る

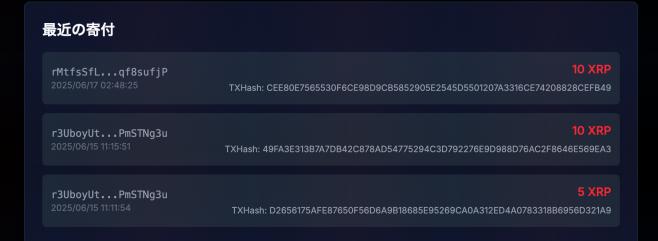
編集

dotfiles

公開中

Dotfiles for macOS









3. 寄付者がプロジェクトを選択

OSS プロジェクトに寄付しよう

オープンソースプロジェクトを支援して、独自トークンを受け取りましょう。 あなたの寄付がプロジェクトの成長を支えます。

Q プロジェクトを検索...



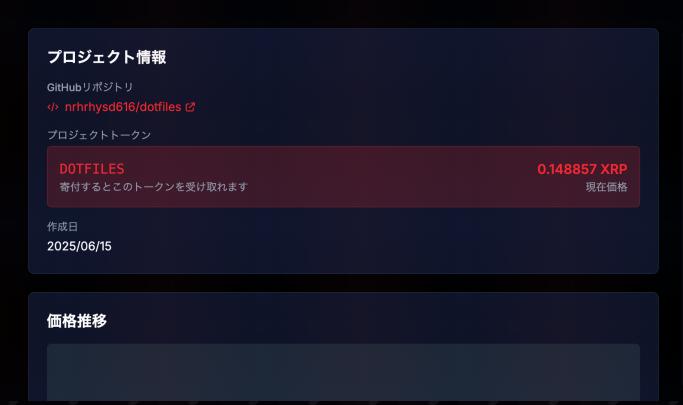


4. 寄付金額入力

寄付者が寄付金額を入力→想定される支援証明トークン受け取り額を表示

dotfiles

Dotfiles for macOS





5. 寄付者がQRコードをスキャンして寄付



6. 寄付者のXamanに通知が届き、トークンを受け取る



技術的特徴①:プレマネー評価システム

動的価格算出の仕組み

トークン価格 = 基準価格 + GitHub品質スコア + 寄付累積効果

GitHub品質スコア(現状)

- 🗾 コミット鮮度
- ▼ ダウンロード数
- !? Issue数
- ★ スター数

技術的特徴②:RLUSD換算による価格安定化

XRPボラティリティ問題の解決

いまだにXRPのボラティリティは大きく、寄付時に価格変動が発生したり 寄付後にトークン価格が大きく変動することがあります

これを防ぎ寄付時の価格を安定化させるためにRLUSDのオーダーブックを利用します

技術的特徴③:Check系トランザクション

CreateCheck・CheckCashを利用したトークン配布システム

従来の問題

- 事前にトラストラインの設定が必要
- 複雑な手順でユーザー離脱リスクあり

Check系TXの利点

- 1. CreateCheck: トークン小切手を自動発行送付
- 2. CheckCash: Xamanアプリで簡単受け取り

将来展望(一部): ライセンスキー自動発行

商用利用の新しい形

仕組み

- 1. 寄付と似たフローでライセンス発行申請
- 2. 寄付額とトークン保有量に応じて自動で期間を設定したライセンスキーを発行
- 3. ライセンスキーはプラットフォーム上で閲覧可能
- 4. OSS内でアドレスを利用したオフラインでのライセンスキーの検証

トークンの保有量が割引やライセンス期間延長に反映される

→長期支援者や早期支援者ほど保有量が多くなり優遇される仕組み

MVP達成度: 95%完了

✓ 実装完了

- GitHub OAuth, GitHub App
- プロジェクト登録・管理
- XRPL統合(CreateCheck/CheckCash)
- 寄付フロー・トークン発行
- RLUSD換算機能付きプレマネー評価システム

77 短期的な実装予定

- ライセンスキー発行システム
- プライベートリポジトリ対応

デモ紹介

実際の動作をご覧ください

デモ内容

- 1. メンテナー登録フロー: GitHub連携からプロジェクト登録(割愛)
- 2. **寄付フロー**: QRコードスキャンから寄付完了
- 3. **トークン受け取り**: Xamanでの小切手現金化

寄付及びトークン受け取りまで2ステップで完了するシームレスな体験

まとめ



「支援証明トークン」による持続可能なOSS経済圏

革新的機能

プレマネー評価 × RLUSD安定化 × Check系トランザクション



将来のライセンスキー自動発行やトークン保有によるOSS優先サポート